

# JAグループ広島 営農通信

2022年

冬号

## 全農提供ラジオ番組のご紹介



- <https://www.tfm.co.jp/agripower/>  
 ●放送日：毎週木曜日 6:15～6:25 (広島FM)  
 ●パーソナリティ：川瀬良子さん

## ZEN-NOH COUNTDOWN JAPAN

- <https://www.tfm.co.jp/cdj/>  
 ●放送日：毎週土曜日 13:00～13:55生放送 (広島FM)  
 ●パーソナリティ：ジョージ・ウィリアムズさん 安田レイさん



## 農業部

- <https://www.tfm.co.jp/lock/nohgyou/>  
 ●放送日：毎週木曜日 23:00～23:06 (広島FM)  
 ●パーソナリティ：鶴見 萌さん 大和明桜さん

～全国FM38局で放送中～



JA全農ひろしまホームページ



<https://www.zennoh.or.jp/hr/>

JA全農ひろしま 営農情報LINE



▲無コーティング直播の実演 (JAグループ担い手アグリサミットにて)

### ◆ 米穀情報

- ①米の需給動向
- ②広島県産米消費拡大に向けた取り組み ～ひろしま米はひろしま愛プロジェクト～

### ◆ 園芸情報

- ①生産振興の取り組み
- ②青果物の販売経過および情勢

### ◆ TOPICS

- 耕畜連携・資源循環ブランド「3-R」の取り組み

### ◆ 営農支援情報

- ①「令和4年度JAグループ担い手アグリサミット」報告
- ②営農管理システム「Z-GIS」の新機能紹介

### ◆ 肥料・農薬情報

- ①水稻栽培におけるウンカ問題解決へ向けた取り組み
- ②肥料コスト低減に役立つ品目のご紹介

### ◆ 農業機械情報

- ①共同購入トラクタ(中型)の購入生産者インタビュー
- ②共同購入トラクタ(中型)のご注文はお早めにお願ひします

# 米穀情報

## ① 米の需給動向

農林水産省は令和4年10月の食糧部会で主食用米等の需給見通しを公表しました。これによると、生産量や需要量の見通しを踏まえた令和5年6月末民間在庫は191～197万トンと見込まれ、令和5年産の需要に見合った適正生産量は669万トンとされました。面積ベースで令和4年産と同規模の作付け転換を図れば需給が均衡する見通しとなります。

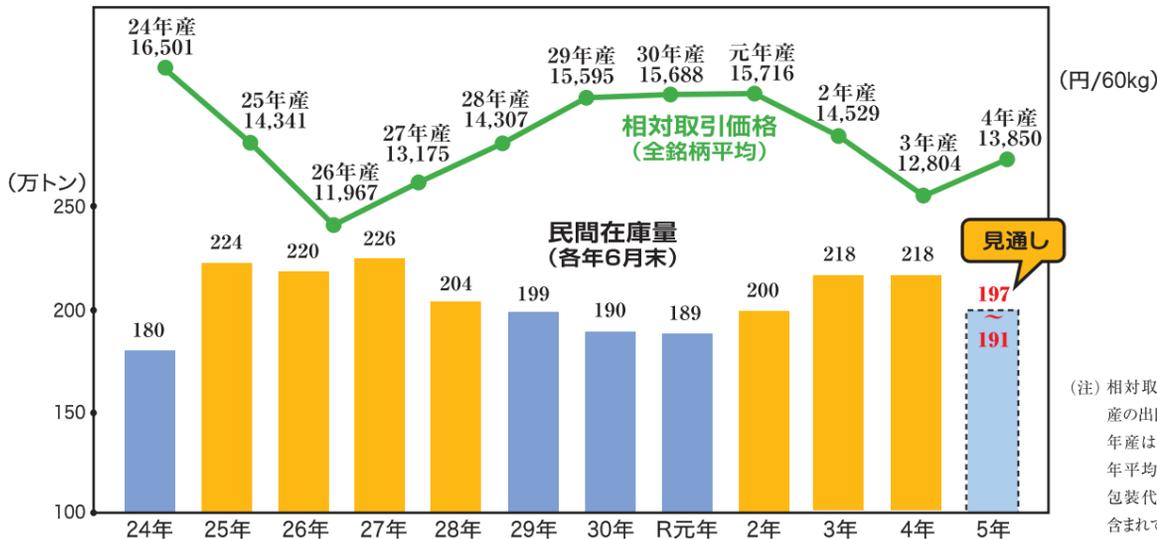
一方で、需要量については、新型コロナウイルス感染症の状況や価格動向等によっては今後、変動する可能性があるとしており、販売動向によっては国の見通し以上に在庫量が増大する可能性もあります。

【主食用米等の需給見通し(農林水産省の資料を基に作成)】

国の需給見通し(10/20食糧部会)			
令和4/5年	令和4年6月末民間在庫量	A	218
	令和4年産主食用米等生産量	B	670
	令和4/5年主食用米等供給量計	C=A+B	888
	令和4/5年主食用米等需要量	D	691～697
	令和5年6月末民間在庫量	E=C-D	191～197
令和5/6年	令和5年産主食用米等生産量	F	669
	令和5/6年主食用米等供給量計	G=E+F	860～866
	令和5/6年主食用米等需要量	H	680
	令和6年6月末民間在庫量	I=G-H	180～186

(注1) 主食用米等需要量は、新型コロナウイルス感染症の状況や価格動向、コロナ影響緩和と特別対策(特別枠)の販売動向等によって、今後、変動する可能性がある。  
(注2) 四捨五入の関係で、計と内訳が一致しない場合がある。

【玄米相対価格の民間在庫の推移(税込価格にて作成)】



(注) 相対取引価格は、当該年産の出回りから翌年10月(4年産は4年10月)までの通年平均価格であり、運賃、包装代、消費税相当額が含まれている。

(出典) 農水省公表資料を基に作成

このようななか、JAグループ広島では、米の生産・販売に係る将来予測も踏まえた需要に応じた生産や、需給環境に左右されにくいブランド力向上、契約栽培の拡大をすすめ、農業者の所得増大を支えてまいります。

## ② 広島県産米消費拡大に向けた取り組み

JA全農ひろしまでは、本年度より広島県産米の消費拡大を目指す『「ひろしま米はひろしま愛」プロジェクト』を進めています。

プロジェクトは、販促活動を強化し量販店や産直市、飲食店にて、広島県産米の認知度向上や付加価値の創出、ファン作りを進め、最終的には農家の所得向上を同プロジェクトを通じて実現していきます。



また、プロジェクトの一環として、10月15日を「広島県民米あきろまんの日」として制定。広島県で開発された「あきろまん」の県民への認知度向上とブランド力向上に向け、全農ひろしまが申請し、この度、(一社)日本記念日協会により登録されました。

10月4日には、プロジェクトをPRするため、湯崎英彦知事を表敬訪問しました。表敬訪問では、プロジェクトの説明と知事による「贅沢あきろまん」と「こしひかり」の新米の食べ比べが行われ、湯崎知事は「贅沢あきろまんは大粒で粘りがあり美味しい。ぜひ県民の皆さんに食べてもらいたい」と語りました。

※「贅沢あきろまん」は「あきろまん」を玄米ふるい目2.0ミリの大粒米に厳選した商品です。

【湯崎英彦知事表敬訪問の様子(10/4)】



■ 全農ひろしまホームページ <https://www.zennoh.or.jp/hr/>

※トップページから、「米穀」とお進みください。

ひろしま米

全農ひろしまは、今後も広島県内のお米や産地の魅力を発信していきます。

〈お問合せ先〉 米穀総合課 / 塚本: TEL.082-431-5450  
米穀販売課 / 山口: TEL.082-431-3000

# 園芸情報

## ① 生産振興の取り組み

### ■アスパラガス多収品種のご紹介

広島県園芸振興協会およびJA全農ひろしまでは、低温伸長性品種を活用した端境期の出荷を可能とする栽培技術を確立するため、広島県農業技術センターと協力して、令和元年から試験的に導入しているウインデルの検証を実施し、今年度は枠板式高畝栽培でのウインデルの収量の検証を行っています。

#### 【方法】

<処理区>

品種:ウインデル(パイオニアエコサイエンス(株)),ウェルカム(サカタのタネ,(対照))

<試験地> 農業技術センター(標高:224m)

<栽培方法>

ハウス長期取り栽培(慣行畝)

栽植密度192株/a(7.2 m間口に3畝,2条千鳥,条間20 cm,株間40 cm) 施肥:N<sub>2</sub>:P<sub>2</sub>O<sub>5</sub>:K<sub>2</sub>O=4.6:1.6:3.9(kg/a)

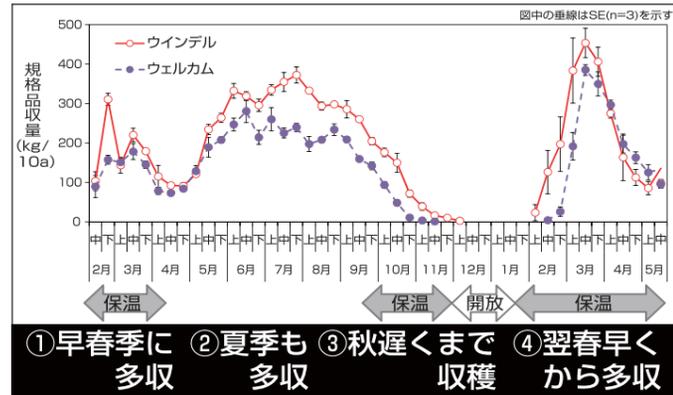
灌水:土壌水分連動 遮光:自動調光システムで制御 温度:二重フィルムで保温

#### 【年間収穫量】

品種	R2年(2年生株)※1					R3年(3年生株)※2		
	収穫期間(月/日)		規格品収量(kg/10a)			収穫期間(月/日)		規格品収量(kg/10a)
	開始	終了	春芽	夏芽	年間	開始	終了	春芽
ウインデル	2/16	12/10	1,164	4,856	6,020	2/5	5/20	2,338
ウェルカム	2/16	11/4	873	3,381	4,253	2/17	5/20	1,872

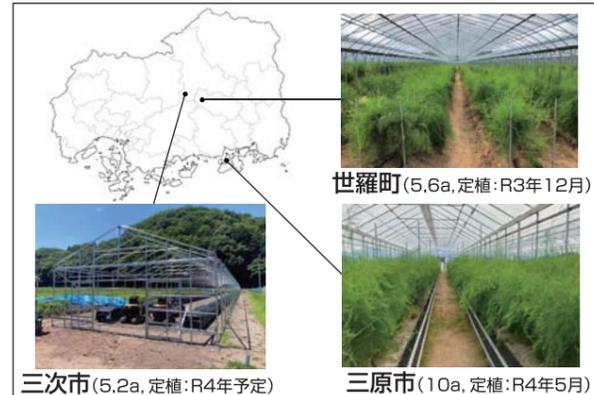
※1.春芽はR2年4月20日まで、夏芽は4月21日以降とした。※2.令和3年は5月20日までの春芽のみの検証とした。

#### ウインデルの時期別収量 (R2~3年度)



①早春季に多収 ②夏季も多収 ③秋遅くまで収穫 ④翌春早くから多収

#### ウインデルの普及状況



※出典:広島県立総合研究所農業技術センター

#### 【まとめ】

優位点としては、高単価な早春季に出荷可能であること、ウェルカムの1.4倍(2年生株)の収量が見込まれることが挙げられます。特徴としては、標高が高く冷え込む地域は凍霜害対策が必要であること、異常茎の出現が立茎の開始目安で、少し茎が太くても立茎することがあげられます。目標は、ウインデルを活用し、安定的に5t/10a以上の収穫を得られるよう生産者の所得向上につなげていくことです。

## ② 青果物の販売経過および情勢 (全国情勢と販売状況)

### ◆青果物 令和4年9~11月の全国情勢と11月末販売状況

※金額は全て税抜

2022年(令和4年)9~11月は、秋の平均気温は全国的にかなり高くなりました。降水量は北日本太平洋側でかなり少なかった一方、沖縄・奄美でかなり多くなりました。日照時間は、北・東・西日本・日本海側でかなり多かった一方、沖縄・奄美でかなり少なくなりました。

全国の生育状況としましては、すべての品目(根菜類・葉茎菜類・果菜類・土物類)について、生育順調であり、その中でも大根、レタス、きゅうりについては平年を上回る出荷量となりそうです。また、なすについては主産地において成り疲れによる樹勢の低下が見られますが平年並みの出荷量となりそうです。

そのような中、JA全農ひろしまの青果物の取り扱い(令和4年11月末累計)のうち、卸売市場仕向けについては、出荷重量9,741t(前年比103%)、販売金額3,112百万円(同103%)、単価は319円/kg(同100%)で推移しています。

#### ■全農ひろしまの市場販売状況(令和4年4~11月累計)

	数量		金額		単価	
	(t)	前年比	(千円)	前年比	(円/kg)	前年比
<b>野菜合計</b>	<b>9,741</b>	<b>103%</b>	<b>3,112,139</b>	<b>103%</b>	<b>319</b>	<b>100%</b>
トマト	2,604	107%	807,885	110%	310	103%
キャベツ	1,186	133%	78,570	137%	66	103%
だいこん	868	87%	85,453	107%	98	124%
小松菜	831	98%	196,158	96%	236	97%
きゅうり	717	107%	165,486	102%	230	96%
青ねぎ	560	88%	323,421	95%	577	108%
ほうれんそう	455	101%	247,512	102%	543	101%
なす	246	124%	54,994	114%	223	92%
アスパラガス	223	85%	246,901	81%	1,105	95%
ミニトマト	168	124%	116,025	130%	689	105%
ばれいしょ	144	49%	20,495	53%	142	108%
わけぎ	142	100%	89,545	98%	631	98%
青梗菜	133	103%	43,616	109%	329	106%
その他葉茎菜類	128	97%	40,796	87%	318	90%
ジャンボピーマン	121	102%	30,377	99%	251	97%
豌豆	40	93%	41,173	89%	1,036	95%

※全農ひろしまの主要品目別市場出荷実績

〈お問合せ先〉園芸課 / 藤田: TEL.082-846-4708

◆ 11月単月の概況

【出荷量】

○11月単月の出荷量は前年と比べ45t増加し、1,033t(105%)となりました。多くの品目が前年と比べ増加し、特にキャベツ254t(149%)、青梗菜19t(127%)、ほうれんそう55t(122%)となりました。

○一方で、だいこん79t(44%)、きゅうり93t(96%)となり、前年の11月単月を下回る出荷量でした。

○果菜類では、トマトは62t(102%)、ミニとまとは6t(120%)となりました。

※( )は前年比

【金額・単価】

○11月単月の単価は318円/kgで前年比96%、11月単月の販売金額は、出荷量は増加したものの、単価は前年を下回ったため、328百万円(101%)となりました。

○出荷量が増加したキャベツの単価は前年比99%、青梗菜の単価は同97%、ほうれんそうの単価は同85%となりました。

○一方で、出荷量が減少しただいこんの単価は前年比129%、きゅうりの単価は同112%となりました。

○果菜類では、トマトは前年比91%、ミニとまとは同115%となりました。

※( )は前年比

◆ 12月の見通し

(1) 入荷量の見通し

12月の指定野菜(15品目)は、北海道、東海、中国、四国、九州産が出回ると見込まれ、入荷量は、前月、前年、平年と同等と見込まれます。

(2) 卸売価格の見通し

このような入荷量のもとで、12月の指定野菜の卸売価格は、前月と同等、前年、平年を下回ると見込まれます。

○品目別の入荷量・卸売価格の見通し(12月)

品目	入 荷 量			卸 売 価 格			(参考)前年12月の主産地シェア(%)
	前月比較	前年比較	平年比較	前月比較	前年比較	平年比較	
だいこん	▲	=	▲	=	=	▲	長崎(64)、福岡(14)、宮崎(8)、鹿児島(6)
にんじん	↗	=	=	▲	↗	▲	長崎(57)、熊本(32)
はくさい	↗	=	▲	▲	↗	▲	大分(43)、鹿児島(21)、岡山(20)、熊本(9)
キャベツ	↗	=	=	▲	↗	▲	愛知(64)、宮崎(7)、福岡(6)、熊本(6)、佐賀(5)
ほうれんそう	▲	▲	=	↗	=	▲	広島(54)、福岡(25)、熊本(10)
青ねぎ	=	=	▲	=	=	=	広島(71)、大分(12)、愛媛(5)、福岡(3)
白ねぎ	↗	=	=	=	=	=	鳥取(51)、広島(27)、島根(9)、大分(8)
レタス	=	↗	▲	=	▲	▲	長崎(39)、香川(25)、福岡(22)、熊本(9)、鹿児島(3)
きゅうり	=	=	=	↗	=	▲	宮崎(39)、熊本(15)、鹿児島(12)、広島(12)、佐賀(10)
なす	▲	=	=	↗	=	▲	福岡(72)、佐賀(18)
トマト(ミニトマトを除く)	=	=	=	▲	↗	↗	熊本(75)、島根(11)、宮崎(4)
ピーマン	↗	↗	=	▲	↗	▲	宮崎(41)、鹿児島(33)、高知(13)
ばれいしょ	=	↗	=	↗	▲	▲	北海道(93)
さといも	↗	=	▲	↗	▲	▲	愛媛(86)、宮崎(9)
たまねぎ	=	▲	▲	↗	▲	↗	北海道(98)
計	=	=	=	=	▲	▲	

注:「平年」とは、過去5か年の平均値である。

※この資料の内容は、令和4年11月24日現在で見込んだものであり、今後の気象条件の変化等により変動があり得る。

※主要野菜の入荷及び卸売価格の見通しのコメント及びグラフは令和4年11月30日中国四国農政局生産部園芸特産課の発表内容による。

(参考)広島市中央卸売市場における品目別の入荷量の推移

単位:トン

品目	9月上旬		9月中旬		9月下旬		10月上旬		10月中旬		10月下旬		11月上旬		11月中旬	
	入荷量	平年比	入荷量	平年比	入荷量	平年比	入荷量	平年比	入荷量	平年比	入荷量	平年比	入荷量	平年比	入荷量	平年比
だいこん	243	78%	216	70%	266	70%	289	74%	447	103%	438	103%	370	90%	377	80%
にんじん	181	92%	184	96%	169	85%	188	91%	232	117%	216	91%	284	128%	280	107%
はくさい	289	146%	248	100%	279	90%	286	80%	409	90%	384	77%	342	74%	391	86%
キャベツ	535	115%	461	97%	468	94%	451	87%	561	101%	534	93%	458	93%	420	79%
ほうれんそう	16	126%	11	67%	13	67%	18	66%	34	95%	43	99%	43	110%	50	114%
青ねぎ	43	99%	38	72%	53	95%	50	88%	64	104%	53	95%	40	105%	34	87%
白ねぎ	39	157%	38	134%	38	122%	36	102%	52	137%	64	112%	60	98%	77	110%
レタス	229	100%	184	86%	178	82%	162	75%	188	86%	177	78%	176	88%	213	107%
きゅうり	162	95%	141	93%	134	91%	126	86%	136	92%	123	86%	138	97%	138	89%
なす	72	101%	54	94%	36	71%	37	70%	56	98%	43	82%	50	108%	46	87%
トマト(ミニトマトを除く)	113	106%	110	101%	100	109%	90	88%	113	101%	95	100%	75	96%	94	107%
ピーマン	46	110%	34	78%	33	79%	29	67%	35	75%	38	85%	39	90%	41	89%
ばれいしょ	260	114%	216	88%	303	131%	230	93%	232	100%	298	120%	227	101%	195	86%
さといも	14	127%	17	85%	21	81%	10	48%	8	42%	8	35%	8	36%	5	25%
たまねぎ	413	94%	442	101%	482	102%	386	83%	571	127%	515	99%	432	101%	333	79%

資料:「広島市中央卸売市場日報」

注:平年比70%以下の数値に青色、及び130%以上の数値に赤色を付す。

〈お問合せ先〉園芸課 / 藤田:TEL.082-846-4708

(参考)広島市中央卸売市場における品目別の卸売価格の推移

単位：円/kg

品目	9月上旬		9月中旬		9月下旬		10月上旬		10月中旬		10月下旬		11月上旬		11月中旬	
	卸売価格	平年比	卸売価格	平年比	卸売価格	平年比	卸売価格	平年比	卸売価格	平年比	卸売価格	平年比	卸売価格	平年比	卸売価格	平年比
だいこん	152	143%	147	133%	143	140%	129	122%	108	123%	99	98%	96	109%	83	122%
にんじん	248	197%	268	191%	212	146%	188	127%	219	156%	202	144%	137	82%	110	79%
はくさい	86	69%	97	79%	117	103%	98	98%	113	165%	80	116%	100	141%	88	114%
キャベツ	72	67%	72	67%	96	96%	88	93%	84	100%	96	111%	118	118%	104	123%
ほうれんそう	968	88%	883	91%	1,000	119%	868	117%	757	117%	594	89%	527	85%	487	85%
青ねぎ	692	98%	675	97%	648	97%	671	103%	648	110%	574	93%	574	86%	543	82%
白ねぎ	427	111%	445	101%	456	110%	502	116%	451	108%	401	90%	377	89%	354	90%
レタス	180	90%	228	110%	214	120%	243	153%	220	167%	223	148%	212	125%	129	87%
きゅうり	337	87%	305	82%	371	109%	362	113%	355	119%	383	83%	360	99%	281	96%
なす	334	101%	341	89%	461	111%	526	134%	462	127%	428	102%	426	94%	384	88%
トマト(ミニトマトを除く)	435	92%	427	94%	432	91%	489	108%	435	120%	400	113%	478	115%	378	99%
ピーマン	426	80%	495	91%	558	116%	531	112%	484	113%	493	121%	500	107%	471	117%
ばれいしょ	174	124%	142	112%	124	103%	106	89%	104	87%	101	81%	107	84%	112	88%
さといも	382	118%	302	92%	282	95%	293	101%	292	106%	264	99%	236	102%	254	106%
たまねぎ	124	137%	124	136%	118	135%	113	127%	100	111%	100	109%	101	105%	111	109%

資料:「広島市中央卸売市場日報」

注:平年比70%以下の数値に青色、及び130%以上の数値に赤色を付す。

### 月別の天候

#### 全国 3か月予報(12月~02月)

2022年11月22日14時00分 気象庁発表

12月~02月	気温	平均気温は、東・西日本と沖縄・奄美で平年並または低い確率ともに40%です。
	降水量	降水量は、東日本日本海側で平年並または多い確率ともに40%、東・西日本太平洋側と沖縄・奄美で平年並または少ない確率ともに40%です。
	降雪量	降雪量は、東・西日本日本海側で平年並または多い確率ともに40%です。
12月	天候	北日本日本海側では、平年と同様に曇りや雪または雨の日が多いでしょう。東・西日本日本海側では、平年と同様に曇りや雨の日が多いでしょう。北・東・西日本太平洋側では、平年と同様に晴れの日が多いでしょう。沖縄・奄美では、平年と同様に曇りや雨の日が多いでしょう。
01月	天候	北日本日本海側では、平年と同様に曇りや雪の日が多いでしょう。東・西日本日本海側では、平年に比べ曇りや雪または雨の日が多いでしょう。北日本太平洋側では、平年と同様に晴れの日が多いでしょう。東・西日本太平洋側では、平年に比べ晴れの日が多いでしょう。沖縄・奄美では、平年と同様に曇りや雨の日が多いでしょう。
	気温	気温は、東・西日本と沖縄・奄美で平年並または低い確率ともに40%です。
	降雪量	降雪量は、東日本日本海側で平年並または多い確率ともに40%、東・西日本太平洋側と沖縄・奄美で平年並または少ない確率ともに40%です。
02月	天候	北日本日本海側では、平年と同様に曇りや雪の日が多いでしょう。東・西日本日本海側では、平年と同様に曇りや雪または雨の日が多いでしょう。北・東日本太平洋側では、平年と同様に晴れの日が多いでしょう。西日本太平洋側では、平年に比べ晴れの日が多いでしょう。沖縄・奄美では、平年と同様に曇りや雨の日が多いでしょう。
	気温	気温は、沖縄・奄美で平年並または低い確率ともに40%です。
	降雪量	降雪量は、西日本太平洋側と沖縄・奄美で平年並または少ない確率ともに40%です。

出典:気象庁ホームページ

〈お問合せ先〉園芸課 / 藤田:TEL.082-846-4708

## TOPICS

## トピックス

### 耕畜連携・資源循環ブランド「3-R」の取り組み

#### ●稲刈り体験会を開催しました

令和4年9月23日、世羅町のおぐにフィールドの圃場で稲刈り体験会開催しました。5月に田植えをした3-Rの「循環米せらにしあきさかり」の収穫です。親子6組23人が参加し、手刈りに挑戦。参加者は「鎌での刈り取りは難しく、お米作りの大変さを感じた。残さず食べるようにする」と話しました。

当日は資源循環型農業の勉強や、ひろしま地産地消推進協議会が地産地消に関するクイズを行い、盛りあがりしました。



▲稲刈りの様子

#### ●イオンモール広島祇園で3-Rマルシェ、クイズラリーイベントを開催しました

9月23日から25日にイオンモール広島祇園で3-Rマルシェと、クイズラリーのイベントを開催しました。

マルシェには循環野菜、循環米、お米ポークや加工品が並びました。クイズラリーでは農業情勢や3-Rの取り組みに関するパネル展を巡りながら3問のクイズに答えていただきました。3日間で1,000人以上の来場があり、「3-Rのことがよく分かった」、「いい取り組みだと思う」など多くの声をいただきました。

また、9月23日から10月31日まで、イオンモール同店の飲食店7店舗で3-R商品の「お米ポーク」や「広島こめたまご」を使ったオリジナルメニューを販売しました。



▲クイズラリー・マルシェの様子

#### ●耕畜連携・資源循環ブランド3-Rのインスタグラム



Instagram(インスタグラム)3-Rのアカウントを開設しています! 3-R生産者の方の想いや3-Rの取り組みなどを消費者の方に向けて発信しています。

生産者の皆さまには、生産にかける想いやオススメの食べ方など、色々とお聞きさせていただきたいと考えておりますので、ご協力の程、よろしくお願ひします。

【アカウント名:@3r\_san.aaru】

フォロー&いいね! お願いします!



〈お問合せ先〉改革推進課 / 狩谷:TEL.082-846-4701

# 営農支援情報

## ①「令和4年度JAグループ担い手アグリサミット」報告

令和4年10月26日・27日の2日間、広島営農技術センター（東広島市河内町入野）で、来場者が実際に見て・触れて、相談できる場として、また、最新の技術情報などを発信する場として「JAグループ担い手アグリサミット」を開催しました。

天候にも恵まれ、多くの担い手、行政、JA、関係者の方々にご来場いただきました。

セミナーや実演会、展示ブースの内容・様子については、JA全農ひろしまのWEBサイトに公開していますので、ぜひ一度ご覧ください。

### ★実演会★

ヤンマーのドローンT-10やクボタ・イセキ・ヤンマーの直進アシストトラクタ、クボタの水稲無コーティング種子直播、イセキのタマネギ収穫機の実演ほか、ラジコン草刈機は2社実演を行いました。一部の実演会では試乗もでき、多くの方に体験いただきました。



### ★圃場散策ツアー★

広島営農技術センターの取り組みを紹介する「圃場散策ツアー」を初めて実施しました。ツアーでは、新しい品種導入・普及を目指す栽培技術の確立試験などを中心に説明しました。

### ★セミナー★

「鳥獣害対策」「アッパー整形ロータリーともみ殻施用による土壌物理性改善技術（レタス株重量の増加や成品率向上の取り組み）」「水稲無コーティング種子の代かき同時播種栽培」「近年問題となっている水稲病害虫・雑草対策」「土づくりからの水稲収量向上対策」の5テーマで実施しました。各セミナーは毎回満席になり、会場外のサブテントで視聴いただくほど大変好評でした。



### ★展示・相談ブース★

今回は、5つのテーマ（①水稲・耕畜連携、②営農支援、③肥料・農薬、④農業機械・燃料関連、⑤園芸）に分けて37ブース設置し、展示や面談形式で情報提供、発信を行いました。営農管理システム「Z-GIS」は、栽培支援管理システム「ザルビオ・フィールドマネージャー」とともに、実際にパソコンを操作して体験していただくブースを設置しました。



JAグループ担い手アグリサミットの内容を動画で公開中!

動画へのアクセスは右記QRコード

又は

全農ひろしまHP内の「営農情報」

からJAグループ  
担い手アグリ  
サミット2022  
へアクセス!



トップバナーからも  
アクセス可能です♪



## ② 営農管理システム「Z-GIS」の新機能紹介

圃場地図とエクセルで管理している圃場情報を紐づけし管理する営農管理システム「Z-GIS」。令和4年10月から、農林水産省が運営するeMAFF農地ナビから地番情報が紐づいた筆ポリゴン情報をダウンロードすることで、簡単にZ-GISへ反映させることができるようになりました。

このことにより、多くの圃場を管理する集落法人などにおいて、エクセル管理している情報を圃場情報とセットにして管理することができ、圃場管理情報が見える化され、構成員にも情報を共有しやすくなります。最初の登録について、ご不明な点がある場合は、営農支援課までご連絡ください。



〈お問合せ先〉 営農支援課 / 神田：TEL.082-846-4706

# 肥料・農薬情報

## ① 水稲栽培におけるウンカ問題解決へ向けた取り組み

現在、稲作においては農閑期ではありますが、次年産に向けた対策を考える期間でもあります。今年産の栽培を振り返ってみましょう。令和4年産では中生品種を中心に一部のエリアでトビロウンカによる被害が発生し、圃場によっては坪枯れによる減収が確認されました。越冬害虫ではありませんが、来年も飛来する可能性は大いにあり、坪枯れや全面枯れ被害の恐れがあります。そのため、安定生産に向けた、ウンカ類への対策が必要となります。



トビロウンカの長翅型成虫(左)と幼虫(右)

### ●箱処理剤で行う! ウンカ類の対策について

ウンカ類を含め、水稲の病害虫防除体系は「箱処理剤防除」+「本田防除(出穂前後)」が基本となりますが、箱処理剤の成分や残効性の違いによっても大きな収量差が生じます。ここでは、ウンカ類防除に特に有効な3種の箱処理剤をご紹介します。キーワードは、「ピラキサルト(トリフルメゾピリム)」です。

これらの箱処理剤は  
ウンカ類に有効な  
殺虫成分である  
「ピラキサルト」を含有  
しており、高い効果が  
期待できます!

	製品名		
	防人	フルスロットル	スクラム
ウンカ類	○	○	○
初期害虫・チョウ目	○	○	○
いもち病	○	○	○
紋枯れ病	—	○	○

これら「ピラキサルト」を含有した箱処理剤を施用した圃場では、複数の箱処理剤を比較した試験においても高い防除効果を確認することができました。



県内圃場において、  
(左)対照剤施用区  
(右)「防人(ピラキサルト)」施用区  
対照剤区ではウンカによる坪枯れが発生しましたが、「防人(ピラキサルト)」区では発生しませんでした。

なお必ず出穂前後の本田防除を実施し、病害虫による減収や品質低下を防ぎましょう。

## ② 肥料コスト低減に役立つ品目のご紹介

昨今の社会情勢の変化により肥料価格は高騰しており、作物を栽培するうえでコストを抑えつつ、いかにして肥料の効果を高めていくかという点について考えなければなりません。

ここではそのコスト低減につながり、かつ確かな肥料効果を得られる品目をご紹介します。

### 1. JA結集水稲一発肥料

水稲一発肥料結集品目「い〜ね一発シリーズ」は肥料コスト低減のため、JAグループの力を結集して開発された水稲用一発肥料です。一発肥料であるためコスト低減に加えて省力化にも貢献します。品種や土壌の特性に合わせて「早生い〜ね755」、「中生い〜ね755」、「中生い〜ね502」の3品目に結集しています。使用された生産者の方からは「銘柄集約の取り組みに賛同して使用したところ生育も順調だった。」「価格が魅力で購入して使用したが、15kg袋が取り扱いやすくてよかった。」等と高評価をいただいています。



### 2. 園芸用肥料

#### 国内未利用資源活用肥料「AGエコレット266」【新発売!】※チラシ参照

畜産堆肥を活用することも「肥料コストの低減」につながる有効な手法です。「AGエコレット266」は、鶏ふん堆肥40%とひまし油粕、鶏ふん燃焼灰、化学肥料を一粒化した「混合堆肥複合肥料」です。微生物繁殖や地力向上などによる土づくり効果を有しており、堆肥および化学肥料の利点を併せ持ちます。様々な作物の栽培において使用することができます。

### 3. 省力堆肥「新ふりかけ堆肥eco」※チラシ参照

「新ふりかけ堆肥eco」は堆肥の主成分である腐植酸、完熟牛ふん堆肥、ゼオライト、良質な有機質原料を混合し、発酵、造粒、高温乾燥した粒状の特殊肥料です。

特徴として、①本製品100kgで牛ふん堆肥1t分の腐植酸を供給、②土壌の化学性、生物性、物理性の改善、③土壌の保肥力の向上があげられます。これらの特徴により、手軽に堆肥を取り入れた土づくりが可能となっています。



〈お問合せ先〉肥料農薬課 / 谷保: TEL.082-846-4705

## 農業機械情報

### ① 共同購入トラクタ(中型)の購入生産者インタビュー

ご購入いただいた生産者の声をお届けします。

今回はJA広島中央を通じて購入された、農事組合法人重兼農場 代表理事 山崎拓人さんをご紹介します。

#### 【共同購入トラクタを知ったきっかけ、購入動機】

共同購入トラクタの情報はJAから聞いていた。青ネギの生産を拡大しており、若手の構成員が運転するのも丁度良い大きさで購入した。

#### 【購入の満足度】

野菜を栽培するのに導入し易い機械を選んだ。トラクタの操作性を向上させるうえでも中型トラクタは良かった。共同購入トラクタは、価格が安く性能が良い。

#### 【共同購入トラクタの主な使用目的、使用頻度】

青ネギ(周年3ha)の生産を主として、耕うん(ロータリー)、肥料散布(ブロードキャスター)、溝堀機、わらの集草(レーキ)で使用している。

#### 【その他(ご意見・要望)】

共同購入機種の機能がシンプルであれば新人の構成員も使用しやすく、専用機、予備機として保有できるので共同購入の取り組みに期待する。



右:購入いただいた(農)重兼農場 山崎さん  
左:JA広島中央農機センター 下満係長

共同購入トラクタでブロードキャスターを使用

ご興味ある方は、最寄りのJA農機センター・株式会社全農アグリサポート広島までお問合せください。

#### ● JAグループ共同購入トラクタとは ●

共同購入トラクタの取り組みは、生産資材コスト低減に向けたJAグループ自己改革の一環です。全国1万人以上の生産者の声を反映し、機能を選りすぐり、全国でまとめて注文することでメーカーの製造、流通を効率化し、製造コストを削減しています。

### ② 共同購入トラクタ(中型)のご注文はお早めにお願ひします

JAグループ/全農

# 共同購入 トラクター SL33L

おかげさまで、  
JAグループの受注台数  
2,500台突破!  
全国から  
共同購入への結集、  
ありがとうございます。

生産者の  
営農規模と  
栽培品目の拡大を  
支援する



JAグループは生産者の需要を取りまとめ、一括発注を行うことで、メーカーは製造・流通の効率化をはかり、生産者へ価格メリットを還元します。

ご注文いただいてから納品まで3ヶ月かかります。  
令和5年3月までにご注文をお願いします

JA全農耕種資材部  
農業機械課公式チャンネル



〈お問合せ先〉 農業機械課 / 平岡: TEL.0824-62-3103